

2022年十大ニュース

1. 肥料輸入原料高騰

中国からの肥料原料輸出の事実上停止によるりん安と尿素の高騰に続き、ロシアのウクライナ侵攻により塩化加里も高騰し、肥料価格の未曾有の高騰に直面する一年となった。全肥商連も農水省や関係各所に発出を働き掛けた支援策・対策が、政府・自民党の主導により、その後農水省から次々と打ち出された。春に打ち出された第一弾のメーカー宛支援に続き秋から始まった第二弾の農業者宛支援の申請・交付作業に追われる新年を迎える。また、肥料は「経済安保重要物資」に指定され、農水省・全農・商系が協調して進める第三弾の対策「輸入原料の備蓄制度」も始まろうとしている。上げ一辺倒であった輸入原料のドル価格や大きく振れた円安にも調整局面に入る兆しも見られ、価格は若干落ち着き気味である。これらの情勢を踏まえると、高騰の混乱もいづらか静まるものと予想される。只、価格調整が十分に進まない場合は、農業者向け支援を6月以降も一定程度継続する必要があるのではないかと。尚、今回も行われた全農・ホクレン(組合)には認められて株式会社には認められない無税の積立金の積み立て・取崩しの繰り返しは、全農・ホクレンと株式会社・商系との公正な経済競争を阻害するので、産業としての日本農業の競争体質を確立する未来を見据えて、数年前に政府にて議論が深められた全農・ホクレンの株式会社化等の抜本策を真剣に検討し実現する必要があると。

2. 「みどりの食料システム戦略」2030年中間目標

昨年春に打ち出された「みどり戦略」では、2050年までに化学肥料等の30%低減(内、20%を堆肥等に置き換え)を目標としたが、僅か1年後の今年6月には2030年までに化学肥料等の20%低減が「中間目標」として追加された。また、「中間目標」では、「2030年以降」に「革新的技術の開発・導入」に取り組み、「2050年」に「向けて取り組みを加速」としていた「下水汚泥」からの肥料成分の回収が、9月になって急に取組を前倒しすることとなり、令和4年度の補正予算で「下水汚泥の肥料利用」も推進されることとなった。このように時間軸等がコロコロ変わるので、何をどこまで本気で実現しようとしているのか見えにくい。また、その間にロシアのウクライナ侵攻が起き、「食料安保」がより重視されるようになった中、1年後を目途に「農業基本法」を改定する流れゆえ、人口減少も踏まえつつ「食料安保」と「肥料低減」「みどり戦略」等をどのように調整するのか、現時点では不明である。畜ふん処理・未利用資源利用・食料安保確保の国内問題と環境重視の世界的潮流とを全て取り込んだ整合性の取れた政策の立案は容易ではない。

3. 全肥商連事業関係

(1) 新年賀詞交歓会(全国複合肥料工業会との合同)

徐々に WITH コロナに変わって行くことを踏まえて、工夫を凝らして3年振りの開催を模索した

が、諸般の事情から、残念ながら今年度も賀詞交歓会・特別講演会共に見送ることとした。

(2) 全国研修会

2年延期した石川県金沢での全国研修会は、7月7・8日(木・金)に開催予定であったが、来年令和5年7月6・7日(木・金)に再度延期した。代わりに、一日4講演の講習会を、東京・経堂の東京農大世田谷キャンパスにて、WEBと併用して開催した。

(3) 施肥技術講習会

コロナ禍の間を縫って、前年に続き、予定通り年3回の研修会を開催した。10月には、従来の施肥技術マイスターの資格を目指す「基礎コース」と同シニアマイスターの資格を目指す「実学コース」に加えて新設した、より基礎的な内容の「基本講座」を行った。次回は来年令和5年2月15・16日(水・木)、仙台にて「基礎・実学混合コース」を行う予定。

(4) 理事会、社員総会

理事会は、計5回、全てWEBにて行った。社員総会は、9月13日(火)にWEB・議決権行使書による総会を行い、講演会・懇親パーティーは中止した。「令和3年度事業報告・収支決算報告」、「令和4年度事業計画・収支予算案」等上程した全ての議案に付き全会一致で原案通り承認可決された。

4. ロシアのウクライナへの侵攻長期化

穀物輸出の停滞による食料価格の高騰、世界経済への影響広がる

5. 安倍元首相凶弾に倒れる

国葬営まれる。旧統一教会政治問題化、被害者救済法異例の早さで成立

6. 新型コロナ感染世界で6億人突破

2月には「オミクロン株」が流行、夏からは感染力が強い「BA・5」が蔓延

7. 中国習近平国家主席3期目の政権発足

8. アメリカ中間選挙

下院は野党・共和党が過半数を奪取、上院は民主党が多数派を維持

9. 半世紀ぶり世界的インフレ・32年ぶり円安

一時1ドル150円台まで下落、物価等への影響大

10. サッカーW杯 日本、ドイツ・スペインを撃破し2大会連続で決勝トーナメント進出